

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 128	126	ヘルパンギーナ	↗ 16	8
咽頭結膜熱	↘ 49	50	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 4	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 56	35	急性出血性結膜炎	↗ 1	0
感染性胃腸炎	↗ 272	254	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 17	19
水痘	↗ 27	22	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 52	38	無菌性髄膜炎	↘ 1	2
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	2
突発性発しん	↗ 49	45	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎 報告数:272件(前週: 254件)
地区別:菊池、有明、人吉
年齢別: 1歳 57件(21.0%)
- RSウイルス感染症 報告数:128件(前週: 126件)
地区別:八代、菊池、人吉
年齢別: 1歳 60件(46.9%)
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 報告数: 56件(前週: 35件)
地区別:宇城、菊池、八代
年齢別: 4歳 11件(19.6%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
熊本市保健所		36	8	14	51	2	8		14				2	1	15		1		
山鹿保健所			12		5	2	5		1				*	*					
菊池保健所		23	17	14	75	8	24		11		2	2		2					
阿蘇保健所					3								*	*					
御船保健所		6			2	2							*	*					
八代保健所		30		4	20	4	5		2		1								
水俣保健所		2			2				1		1		*	*					
人吉保健所		12	1	2	30				4				*	*					
有明保健所		4	3	2	58	1	2		8		1		*	*					
宇城保健所		11	4	20	20	4	4		3				*	*					
天草保健所		4	4		6	4	4		5		11								
計	0	128	49	56	272	27	52	0	49	0	16	4	1	17	0	1	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	128	16	19	60	21	8	3	1														
咽頭結膜熱	49	1	3	10	8	5	8	5	3	1	1	1	2	1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56			2	2	5	11	9	9	5	7	3	2	1								
感染性胃腸炎	272	3	27	57	32	33	24	30	11	7	8	5	24	3	8							
水痘	27		3	6	5	6	2	2	1	1					1							
手足口病	52		5	19	10	4	6	3	2	1		1	1									
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	49	3	15	23	7		1															
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	16	1	1	5	4	1	1	1		1		1										
流行性耳下腺炎	4								1	2		1										
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1														1							
流行性角結膜炎	17				1		2			2					3	3	2			2	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1					1																
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ:天草
- 咽頭結膜熱 :山鹿、菊池
- 手足口病 :菊池

RSウイルス
流行継続中



RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症です。今年は、7月下旬から増加傾向にあり、今週は先週とほぼ同数の報告がありました。昨年は、ほぼ同時期に流行のピークを迎え、その後減少しましたが、今年は、報告が多い週が続いており、もうしばらく注意が必要です。報告は、1歳未満:35件(27.3%)、1歳:60件(46.9%)、2歳:21件(16.4%)と乳幼児がほとんどですので、小さなお子さんのいる家庭では特に注意しましょう。

【症状】

鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

【感染経路】

ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染
ウイルスがついた手指や物(ドアノブ、手すりなど)からの接触感染

【予防策】

- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない
- ・症状のある家族はマスクをする
- ・外出後の手洗いをきちんと行う

